

(1)

B版

1952年5月30日第3種郵便物認可

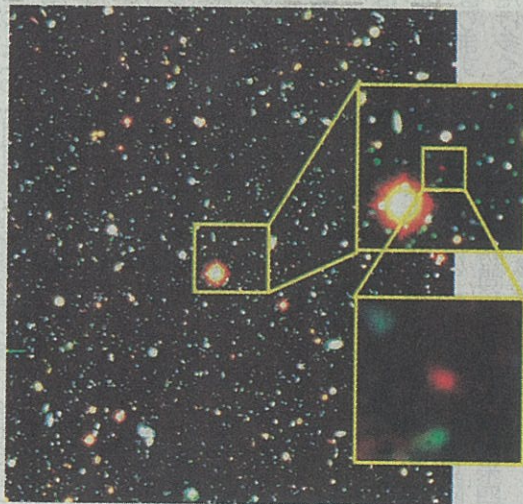
しんぶん 赤旗

2006年 9月14日 木曜日
日刊第20051号

発行所 日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
〒151-8586 電話 03(3403)6111

©日本共産党中央委員会2006年

129億光年 最遠の銀河



すばる望遠鏡が観測した、かみのけ座の方向の深探査領域の一部。今回見つかった最遠の銀河は右下の四角の中心にある赤い天体です（国立天文台提供）

すばる望遠鏡で発見

国立天文台などの観測チームは十三日、すばる望遠鏡による観測で、これまで最も遠方の銀河を見つけたと発表しました。地球から約百二十八億八千万光年の距離にあり、これまでに観測されている最遠の銀河より、さらに約六千万光年遠方にあります。

観測チームは、かみのけ座の

一角を「すばる深探査領域」と定め、遠方にある銀河に狙いを絞った観測を続けてきました。今回、遠方の銀河が放つ光だけを選択的にとらえることのできる特殊なフィルターを開発して観測することで、この銀河を発見することに成功しました。

宇宙の始まり（約百三十六億六千万年前）から七億八千万年ほどたった初期宇宙の銀河から届いた光です。国立天文台の家正則（いえ・まさのり）教授は「これまで観測の届かなかった宇宙史の暗黒時代の解明に一歩踏み出せた」といいます。

今回の発見によって、すばる望遠鏡は、遠方銀河リストの上位七位までを独占しました。

観測成果は、十四日付の科学誌『ネイチャー』に掲載されます。